



# 議会だより

## No.135

2021.10.15 発行



### 表紙 町村議会議員研修の様子

- 補正予算ピックアップ、補正予算質疑・・・P2
- 議案リスト・・・P3
- 総務建設産業常任委員会審査報告・・・P4
- 教育民生観光常任委員会審査報告・・・P5
- 決算審査特別委員会審査報告・・・P6～P7
- 第3回臨時議会・活動報告・・・P8
- 特集・・・P9
- 一般質問(7名)・・・P10～P16
- わたしのひとこと(2名)・・・P17

### 裏表紙 議員リレー

飯田、野上地区の写真  
編集後記

### 今号の写真

大分県町村議会議員研修の様子です。  
日出町で開催され、災害対策における地方議会・  
議員の役割についての講演を聴き勉強中です。

あ  
ま  
り  
の  
え

9月  
定例会

# 一般会計 特別会計補正予算

原案  
可決

令和3年第3回定例会9月議会が開催され、補正予算6件のほか、報告3件、議案14件、発議1件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

## 令和3年度一般会計補正予算（第4号）

補正前予算額	81億1,993万6千円
補正額	1億5,357万7千円
補正後予算額	82億7,351万3千円

### ◎補正予算●主要内容

#### 歳入

- 国庫補助金(地方創生臨時交付金)… 6,346万円
- 県補助金(自然環境整備交付金)… △2,500万円
- 繰入金(基金繰入金) …… △1億6,250万円
- 繰越金 …… 2億5,530万円

#### 歳出

- 商工費 補助金
  - ※商品券事業 …… 1,550万円
- 消防費 委託費
  - ※災害廃棄物処理 …… 9,236万9千円
- 教育費 工事請負費
  - ※トイレ改修 …… 7,300万円

## 追加議案 令和3年度一般会計補正予算(第5号)

補正前予算額	82億7,351万3千円
補正額	2,426万1千円
補正後予算額	82億9,777万4千円

### ◎補正予算●主要内容

#### 歳入

- 国庫補助金(地方創生臨時交付金)… 1,426万円

#### 歳出

- 商工費 補助金
  - ※事業者支援金 …… 1,850万円
- 災害復旧費 補助金
  - ※農地小規模災害復旧事業  
補助金 …… 800万円

### ◎特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計
  - …繰越金の確定により4,217万1千円を追加し、総額14億5,628万8千円としました
- 水道特別会計
  - …繰越金の確定により803万7千円を追加し、総額1億2,608万5千円としました
- 飯田高原診療所特別会計
  - …繰越金等の確定により190万円を追加し、総額7,390万8千円としました



監査委員（再任）  
佐藤 徳幸さん  
(南山田 川西二)

人事案件  
1件  
同意

第3回九重町議会定例会 「令和3年9月1日～9月24日」

第3回 定例会 ・ 議案一覧			
議案番号	件 名	付 託	結 果
報告第6号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について		
報告第7号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について		
報告第8号	令和2年度このえまち総合サービス株式会社決算の報告について		
議案第30号	工事請負契約の締結について		可決
議案第31号	九重町過疎地域持続的発展計画について	総務	可決
議案第32号	指定特定非営利活動法人の指定の手續等に関する条例の一部改正について	総務	可決
議案第33号	町税特別措置条例の一部改正について	総務	可決
議案第34号	道路認定について	総務	可決
議案第35号	手数料徴収条例等の一部改正について	教民	可決
議案第36号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第4号）		可決
議案第37号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第38号	令和3年度水道特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第39号	令和3年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第40号	令和3年度介護保険特別会計補正予算（第1号）		可決
議案第41号	令和2年度九重町一般会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第42号	令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第43号	令和2年度水道特別会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第44号	令和2年度飯田高原診療所特別会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第45号	令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第46号	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特	認定
議案第47号	監査委員の選任について		同意
議案第48号	財産取得について		可決
議案第49号	令和3年度九重町一般会計補正予算（第5号）		可決
発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について		可決
陳情第1号	滝上第2橋架け替えに伴う町道の路線変更（延長）を求める陳情書	総務	継続審査
陳情第4号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	議長 預かり	議員配布

※上程された議案については、上記のとおり可決・認定・同意されました。

(注) 全員一致の場合は「可決」または「否決」と記しています。  
 可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。  
 総務＝総務建設産業常任委員会、教民＝教育民生観光常任委員会、決算特＝決算審査特別委員会

## 町道認定(鹿伏桐木地区)

第2回定例会で採択された陳情に基づき、該当する道路が「桐木鹿伏支線」に認定されました。



認定対象道路

## 指定特定非営利活動法人の手續に関する条例の一部改正

個人情報保護の強化のため、これまで公表されていた指定特定非営利活動法人の役員名簿、社員名簿の個人の住所、居所が公表等の対象から除外されます。加えて、当該団体の事務負担軽減のため、「資産の譲渡等に係る事業の料金、条件その他の内容に関する事項を記載した書類」の提出が不要で、「役員報酬規程」及び「職員給与規定」についても内容に変更がない場合は提出が不要となります。

## 町税特別措置条例の一部改正

旧過疎法では、過疎地域に指定された自治体による固定資産の課税免除又は不均一課税に伴う減収補填が規定されています。

新過疎法では同様の減収補填の対象業種に、情報サービス業等が追加されました。同時に、取得価格の合計額の上限が変更され、固定資産税の課税の免除を受けるための要件が引き下げられました。

## 指定特定非営利活動法人(指定NPO法人)とは

NPO法人への寄附を促すことでNPO法人の活動を支援する制度です。条例により寄附金を受け入れるNPO法人として県または市町村が指定します。

大分県の指定NPO法人に寄附をすると、個人県民税から寄附金額の約4%の税額控除が受けられます。

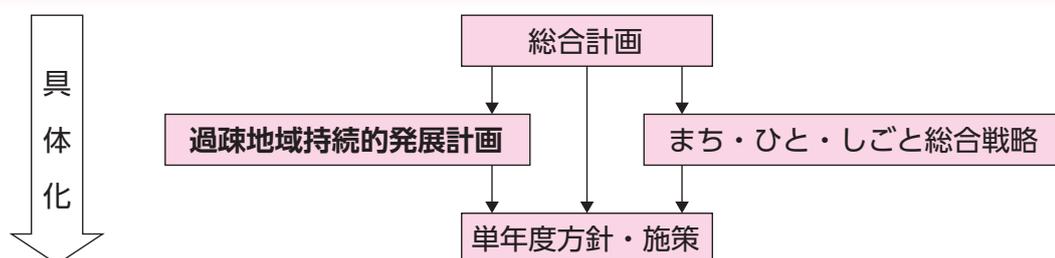
大分県では、大分市に地球・地域環境に係る法人が1団体存在するのみです。

## 九重町過疎地域持続的発展計画

これまでの過疎計画は「過疎地域自立促進特別措置法」に基づいて策定していましたが、令和2年度末が期限であったため、新たに、令和3年度から令和12年度までの期間で「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が制定されました。

九重町は改めて全域が過疎地域に指定されたため、令和3年度から5年間の計画を策定することで、国の負担又は補助の割合の特例(嵩上げ)、過疎対策事業債の借入などの優遇措置を受けることが可能となります。

この発展計画は県の過疎地域持続的発展方針に則り、県との十分な協議により策定しており、九重町の今後の財政状況、地域・事業を取り巻く環境、社会情勢の変化などに応じて、事業規模や実施時期は弾力的に運用していきます。



## 手数料徴収条例等の一部改正

個人番号カード発行に関する手数料は、町の手数料徴収条例により徴収していましたが、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正により、手数料の徴収は地方公共団体情報システム機構が金額を定め、市町村との委託契約により、徴収することとされたため、「手数料徴収条例」の個人番号カードの再交付手数料の規定を削除及び、所要の改正をするものです。

新型コロナウイルス  
ワクチン接種進む

九重町での新型コロナウイルスワクチンの集団接種は9月25日に終了しました。全人口に対する接種率は73%を超えました（10月3日現在）。

10月からは町内医療機関の個別接種を始めました。



文化センターでの集団接種の様子



厚生労働省  
新型コロナウイルスについて



新型コロナワクチンQ&A



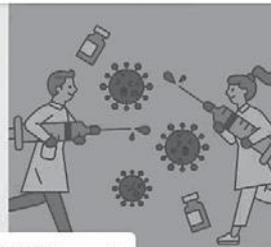
QRコード

動画で  
新型コロナワクチン接種後の  
副反応の経過や対応方法に  
ついてご説明しています。

動画を見る ▶

コロナワクチンナビ  
新型コロナワクチンの、お近くの接種会場を探せます。  
会場ごとの予約受付状況もご案内しています。

接種会場等を検索できます。 ▶



※コロナワクチンに関する  
疑問は、下記のQRコードから



## 感染症対策として、町内各小学校のトイレ改修



※飯田小学校のトイレの状況(1階 男子)

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度7,300万円の予算で、野矢小学校と飯田小学校のトイレを洋式化、乾式化、感染症対策の工事を行います。

また、来年度に向けて、東飯田小学校、南山田小学校、淮園小学校のトイレについても、洋式化、乾式化、感染症対策を行うための設計委託費として600万円の補正を行いました。

# 家計簿をチェック

## 審査特別委員会報告



### 特別委員会を設置

令和3年第3回九重町議会定例会において、議員9名により決算審査特別委員会を設置し、一般会計及び特別会計の令和2年度決算分について、9月2日、13日、14日の3日間にわたり審査を行いました。

今回の決算審査を実施するに当たり、当該予算が議決された際の趣旨と目的に従ってその執行が適正にそして効率的に行われているか、また今後の行財政運営においていかに改善工夫がされるべきかといったことに力点を置きながら書類審査を行い、担当課に対する事情聴取を実施し、慎重に内容の審査を行いました。

委員長が委員会での審査結果を本会議で報告し、報告どおり各種会計決算を認定しました。

決算審査報告

### 各課ヒアリングの様子

例年、両常任委員会から3名ずつの6名の委員にて審査を行いますが、今回については、議長、議選監査委員を除く9名で審査にあたりました。



庁舎空冷ヒートポンプチラー取替工事

九重町商工会商品券事業補助金

移住者居住支援事業補助金

見守り・緊急通報システム業務委託



# 令和2年度 町の

## 決算認定における決算



町の家計簿は、



ですが

- 収入には、新型コロナウイルスによる経済状況の影響も…  
これからは、新型コロナウイルス対策、令和2年7月豪雨災害からの復旧、公共施設の長寿命化など、お金の使い方を実画的に考えていかないと…

### 決算認定に当たっての付帯意見の概要

#### ●収入未済について

令和元年度分と比較して、一般会計においては、町税、使用料、負担金、諸収入等の収入未済額が増加しているが、原因として、令和2年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の経済への影響がうかがえる。

徴収不能なものについては、規定を整理し、不能欠損処理を。

#### ●補助金、補助事業、助成事業について

適正な予算執行がされている。今後においても事業の精査を行い、適正執行に努めていただきたい。

#### ●総合意見

◎観光産業は厳しい状況にある。基金も減少しているため、運用については、慎重に計画性をもって有効活用することが必要。

◎災害対策、新型コロナウイルス対策と厳しい財政状況が予想されることから、事業の再点検をし、投資効果を見極め、適正な編成・執行に努めること。

◎住民にとって、わかりやすい行政情報の提供に心がけること。

◎行政効果、投資効果が最大限得られるよう効率的な財政運営を行うこと。

## 8月臨時議会 可決

8/2

### ▶財産取得

消防ポンプ自動車（水槽付き CD-1 型）

取得金額；27,588,000 円 取得の相手；株式会社消防防災 大分本店

〈現車両は取得後 20 年以上経過し、部品の摩耗・老朽化が進んでいる。指名競争入札〉

### ▶補正予算（主な歳出）

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 350 万円

町田川沿い水工場オイルタンク撤去 490 万円

7/29

## 西部振興局及び玖珠土木事務所との懇談会

昨年は状況が整わず二年ぶりの開催となり、密度の高い意見交換が行なわれました。

西部振興局とは、企業誘致並びに農業と観光の振興策を話題としました。前者ではIT関連企業誘致、リモートワーク推進企業支援、工場適地の確保に重点を置いています。後者では、耕作放棄地、営農指導、農業施設老朽化、県産農産物の輸出、宿泊施設受け入れ環境整備など当町の直面する課題に取り組んでいました。

土木事務所とは、町内の土木事業の現状を聞き要望を伝えました。



西部振興局



土木事務所

## 第5回「山の日」記念全国大会2021

8/11

「山の日」全国大会 2020 が 2021 と名を変え大分県で開催されました。九重町が主会場となり文化センターで記念式典が執り行われ、議員も全員で出席しました。



文化センター  
体育館



長者原

式典はホールでしたが、体育館でも放映され、広々としており安心して参加できました。トークイベントでは、石丸謙二郎氏、工藤夕貴氏など四名の方が大分の山、特にくじゅう連山やメサ地形について、その魅力や恵みについて語っており、地元住民として認識を新たにしました。並行して長者原では歓迎フェスティバルを行っており、雨天にも拘らず多くの方で盛り上がっていました。

いずれにしても大会関係者のご努力の賜物で、心から感謝申し上げます。

9/12

## 避難所開設体験訓練

防災の日は9月1日、九重町は9月を防災月間としています。12日には、東飯田地区体育館で、九重町避難所体験訓練が実施されました。

東飯田防災士会の仲摩茂敏会長の活動報告の後、NPO大分県防災活動支援センターの川村正人氏の講演と指導のもと訓練に移りました。役場職員が運営班で、東飯田防災士、区長および地元議員が避難者役班となり設営と分担行動を行いました。

町内では初の試みであるため、数多くの改良意見が出されましたが、大きな一歩であると感じました。他地区では来年に実施する予定とのことで、より臨場感のある訓練になっていくことを期待しています。



避難テント設置完了



# 町政を質す 一般質問

7名の議員が質問

## 町民にやさしい行政を! 組織改革に取り組むべきでは

…………… 意識改革を徹底していきたい



増田 裕子

一般質問

**増田** 最近、役場の対応が冷たいとの声を聞く。町民にやさしい行政、町民のために情熱をもって働ける職場であるためには、役場の組織改革が必要だ。体制を改善する計画はあるか。

**町長** 現場主義を一番大事にしている。意識改革をもう一度徹底していきたい。

**増田** 「住民をたらいまわしにしない」ためのワンストップサービスは進んでいるか。

**町長** 今年8月豪雨の際、建設課と農林課で一つの窓口を設定して対応した。現在、1階は住民課窓口から各課につながっているが、今後住民のためのワンストップサービス、積極的に進めていきたい。

### 防災体制の強化・避難所の安全確保と管理計画を

**増田** 今年8月豪雨時の自主避難状況は。

町長	避難所	世帯	人数	
	東飯田地区体育館	15	29	
	緑陽中学校	25	77	
	飯田地区体育館	1	3	
	南山田地区体育館	26	49	
	淮園小学校体育館	16	27	計87世帯185人

**増田** 昨年の経験もあり、早期避難が望ましい。地区体育館を避難所として計画的に整備する必要がある。住民の声を反映しながら町内の情報収集と対策をとっているか。

**町長** 行政で集めた情報や、消防団等による点検、防災会議の内容等を、危険箇所の周知や避難指示等につなげていく。

### コミバス 運行スケジュールの早期見直しと 町民にやさしい利用しやすいバスを

**増田** 10月運行スケジュール見直しと、バスの買い替えの予定は。



**町長** ダイヤについては変えず、現行で行く。九重縦断線や 1日350キロを走る九重縦断線(3往復)飯田高原線は1日平均利用48.5人と多いが、他は1~3人。3台の縦断線は走行距離が35万キロを超えており、今年度から3か年で1台ずつ更新していく予定である。

### 若年者のコロナワクチン接種、慎重な対応を! ワクチン接種をめぐる差別や偏見がないように

**増田** 12歳以上の接種が始まっているが、町の基本姿勢としてはどうか。

**町長** ワクチンは、住民一人一人がメリット・デメリットをよく考えたうえ、個人判断で接種するもの。子どもも大人同様に町は接種を推奨している。ただし、接種は保護者同伴が原則。学校現場でも、接種の有無で特別視やいじめは絶対起こらないよう依頼している。

野上  
香代子



## 農業の将来像は

…… 担い手の確保、育成で農地維持を支援、  
農地を守る

### 農業と農作物について

**野上** 8月の長雨による被害状況は。

**町長** 水稻のいもち病の発生、野菜類、花卉類においても日照不足で被害が出ている。想定では二割から三割程度、生産量が減少するのではないかと予想されている。



被害を受けた農作物

**野上** 町の農業の将来像は。

**町長** 担い手の確保、育成につとめる。又、農地を守る為、平坦地、作業効率の悪い中山間地、この2つに分けて考えていく必要がある。

**野上** 農作業に関わる年代層の把握は。

**町長** 九重町では29歳までが16名、30歳から39歳までが34名、40歳から49歳が56名、50歳から59歳が74名、60歳から69歳が250名、70歳から79歳が325名、80歳以上が163名で高齢化が伺える。

**野上** 人・農地プランの現状と推進の考えは。

**町長** 現時点で20地区が作成され、そのうち7地区が実質化をされております。今後も積極的に地域に、実質化に向けた話し合いのお願いや協議に参加していく。

**野上** 生産物フードロスの捉え方は。

**町長** 隠れ食品ロスは日本のほうでもまだしっかりとした数字は確認が取れていない。

**野上** フードロスから加工品（以前あったトマトケチャップ）作りを推進しては。

**町長** 町からのアプローチも不可能ではない。  
生産が復活できる様努力をしていきたい。

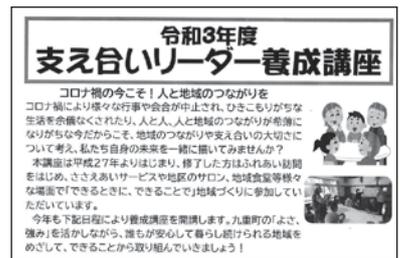
### 高齢者支援について

**野上** コロナ禍における支援体制は。

**町長** 町独自で地域共生社会環境整備事業を行い、訪問調査、相談している。その中で、孤立しがちな方に対しては、集いの場の紹介などを行っている。このほかに、給食サービス、ふれあい郵便、夢サロン、体操教室、ほほえみ教室などで見守りや交流機会の確保をしている。

**野上** 行政区でのネットワーク強化の考えは。

**町長** 御近所同士、行政区同士内で強化していくのが大事である。リーダー養成も並行して進めていきたい。



### 災害対策について

**野上** 昨年の災害経験が今回の災害対策に活かされた事はあったか。

**町長** 避難所設営に関しての職員配置、これを見直し開設準備から開設受入れまでの迅速化は図られた。

**野上** 避難行動要支援者名簿は作成できているのか。

**町長** 作成しており現在2,468名の方が登録をされ、年2回見直し、災害時の避難支援、救助活動、加えて平常の見守り等に活用している。

### 昨年の豪雨災害復旧状況について

**野上** 家屋、河川、道路、農地の復旧状況は。

**町長** 8月末、家屋の公費解体は23件中22件完了。河川は査定件数が58件中、発注32件、契約済が16件。町道は査定件数26件、発注25件、契約済が24件。農地農業施設は査定438件、発注142件、契約済が38件となっている。

## 松木川などで氾濫危険箇所には 抜本的な対処が急務である

…………… 県の計画と合わせ氾濫防止策を  
具体的に検討する



麻生  
良典

### 災害対策〈対河川氾濫〉

**麻生** 松木川周辺の住民には、毎年のように警戒が発令されている。気象変動から考えると、今後も繰り返される可能性が高い。ハード面での河川氾濫対策を早急に実施すべきである。

**町長** 松木川は底が岩盤で掘削が困難。河川の拡幅も考えられる。県は河川の対策に幾つもの計画を立てており、今後調査を続けて氾濫防止方法を検討する。

**麻生** 中長期課題であるため、第五次総合計画ではどのように対応するつもりか。まちづくりの基本は安心で安全に暮らせることであり、これがあってこそコミュニティが成立する。

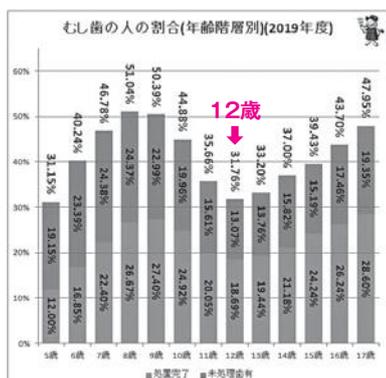
**町長** 第5次総合計画で新たな施策として、防災・減災の推進という項目を掲げる計画を進めている。その柱は

- ・ 防災あるいは災害情報機能の充実
- ・ インフラを含めた減災対策
- ・ 自主防災組織なども含めた防災体制の充実

### 中学生や高校生の虫歯対策

**麻生** 中学生から高校生にかけて虫歯が増加する。将来の虫歯減少にはこの時期の対策が重要である。担当課間の連携は如何であるか。

**町長／教育長** 中学校では部活を休みにして虫歯治療週間を設けた。治療時間確保と治療の意識付けとなる。高校の養護教諭とは年2回の健康づくり推進会議を通じ



Yahoo!JAPAN ニュース 2020/1/24 より抜粋

て連携。高校では年1回の歯科健診、保健だより等を通じた啓発を行っている。フッ素で培った基盤を大人につなげていけるよう、食育、歯磨き習慣などの口腔ケアの意識付けを関係課で連携し進めたい。

であり、この分類で計画化したい。

自然災害全般を対象に災害リスク等を考えた、九重町国土強靱化地域計画、を基本とする。



龍門橋のすぐ下流  
(松木川)



川上大橋付近(松木川)

### 新たな感染症の時代 教育現場の対応

**麻生** 昨年以来、全国的な感染症拡大が社会現象となっている。教育現場ではどのように対応しているか。

**教育長** 小学校・中学校では、手洗いなどの基本的な感染症対策の指導や医療従事者や身近な感染者に対する差別や偏見に関することを中心に、新聞記事も活用しながら学習を行ってきた。

**麻生** 多様な考えや意見が報じられており、生徒が自ら考えることを提供する良い機会である。特に、全国ホッケー大会出場選手にとって、五輪や感染症が発生した高校の競技大会は身近な材料であったが、学校はどのように対応したか。

**教育長** 医師の意見、他の市町村の事例や県教育委員会の考えを参考にして対応方針をつくった。保護者会では、体調管理の徹底、帰宅後のPCR検査や自宅待機についても説明した。家庭内での話し合いもお願いした。

積極的に考える場の提供は行わなかったが、生徒が感染対策に自発的で積極的な行動をとるようになった。

岐部  
俊哉



町の主要事業の7割が委託・補助金事業である。事業評価を適正に行い民間の活力を更に活用する準備があるのか？

…… 町民の方々とのコミュニケーションが大切！  
その上で決断するところは決断する！

## 令和の時代を生きる！ 第10弾 まちづくりはひとづくり

### コロナ禍での教育について

**岐部** 新学期に入り町内での感染者発生という事態に、何故オンラインリモート授業ができないのか。

**教育長** 学校内でのリモートに関しては準備ができたが県教委からの助言もあり、家庭に持ち帰った場合のフィルタリングソフトの導入が必要となった為、今議会で予算計上を行い早急な対応をしているところである。

**岐部** 「学びを止めない未来の教室」を担保するためにどのように取り組んでいくのか。

**教育長** 思わぬ課題で予定より遅れはしたが、全ての児童生徒が平等に家庭でのオンライン授業が受けれるように準備を進めていく。

### 主要事業について 観光・不動産事業は民間に委託し、 更なる活力を生む事業に生まれ変わる チャンス

**岐部** 主要事業の7割を占める委託・補助金事業について、どのように評価しているのか。

**町長** PDCAサイクルを活用することで多くは評価できると考えている。今年度から実績報告書の様式を変更し特に「A」の部分を改善し更に町の事業の活性化を図りたい。

**岐部** 観光協会の事業について10年間の補助金は1億を超えている。具体的にどのような効果が現れているのか。

**町長** 事業効果の可視化が難しい事業内容が多い為、今後はSNSの活用やレンタカーの動態調査等を含め多面的に評価できる方法を検討していく。

### 業務のデジタル化について

#### ①マインドセット②自前主義をやめては

**岐部** デジタル庁の発足もあり国・県ともに行政手続きのデジタル化を進めている。本町ではどのように進めていくのか。

**町長** 行政手続きのデジタル化、自治体DX推進計画については、今のところ国の手順を示す概要がはっきりと示されていない為、今後推進するための組織・体制の構築と計画の策定に向け順次進めていく。

### このえまち総合サービス(株)について

**岐部** 10月から5年目を迎える会社が、今後どのような業務を考えているのか。逆に、役場の業務で民間に委託した方が良いと考える業務があるのかどうか。

**町長** 正社員2名を含め19名が地元雇用であり、経済、特にお金の循環ができつつある状況は生まれている。国がプライマリーバランスゼロを進める中で、今後民間に委託した方が良いと考えられる事業としては下記の事業を検討する可能性はあると考えている。

- ①現在検討されているDMO
- ②レンタカーを含めた交通インフラ事業
- ③窓口業務の民間委託

特にDMOについては持続可能なまちづくりの理念において、変換できる大きなチャンスと捉えている。2017年に策定した第2期自律推進計画に基づいて町民の皆様とのコミュニケーションを基軸として、提案された内容を含めて今後しっかりと検討を進めていく。

## 自主財源の確保について

(コロナ、豪雨等の災害時に町独自の支援を行うため、自主財源を増やす取組みは考えられないか)

…………… 調査を含め、検討できるものもあると考えている



岩尾 茂樹

### コロナ、豪雨災害に対応する職員、教職員の勤務、労働状況は

**岩尾** 令和2年度の時間外勤務の状況は。

**町長** 令和元年度は年間合計で約9,379時間、令和2年度は約23,589時間で、100時間を超えた職員が元年度は0名で2年度は55名いた。

**教育長** 例年と傾向は異なるが減少している。

**岩尾** 100時間を超す時間外勤務を数か月続けた職員はいるか。

**町長** 災害復旧等を担当するグループにおいては、全体的に増えている。

**岩尾** 有給休暇の取得状況は。

**町長** 平均取得日数は元年が10.1日、2年が9.2日で少し減少している。

**教育長** 小学校は、学校、学年で異なるが取得日数が減少している。中学校は、0.3日ほど増加している。

**岩尾** 有給休暇が取りづらい状況はなかったか。

**町長** 関係規則に基づいて取得されている。

**教育長** 夏季休業も短くなったので若干休みにくい状況があったかと思う。

**岩尾** コロナ、豪雨災害に対応するために人員の異動等行ったか。

**町長** 令和2年9月1日に4名の職員を異動した。8月に建設課付けに会計年度任用職員を5名募集したが、応募がなく補充できなかった。

令和2年4月1日は正規職員、会計年度任用職員等で245名在職していたが、3年4月1日は247名で2名増員となっている。

**教育長** 配置換え等を行っている。

**岩尾** 長時間勤務の職員に対して産業医、保健師等による面接等の対応を実施したか。

**町長** 医療的な相談、ケアを実施した。

**教育長** 昨年度は対象者で面接を希望する職員がいなかった。



職員の勤務の様子

### 自主財源の確保について

**岩尾** 令和2年度末の基金と町債の残高は。

**町長** 基金が約61億5千万円で一般会計において約7億円減少している。地方債は55億2千万円で約2億4千万円減少している。地方債については、約43億円が交付税算入される予定である。

**岩尾** 令和2年度の自主財源の金額と比率は。

**町長** 33億5千万円、約34.77%で前年度より約8%減少している。

**岩尾** 比率は他市町村と比較してどのような状況か。

**町長** 特に悪い状況ではないと認識している。

**岩尾** 自主財源を増やすためにオークション（財産の売払い）やネーミングライツ（命名権の売買）は考えられないか。

**町長** 検討できる有効な手段と考えられるが、住民等の理解も必要なので、調査は続けていきたい。

**岩尾** ふるさと納税を増やすために次のようなことを検討、実施できないか。①企業によるふるさと納税 ②直売所等でスマホによるふるさと納税 ③自動販売機でのふるさと納税 ④返礼品に再生可能エネルギーで発生した電気の利用、これらの方法では現金やクレジットカードも利用でき、返礼品の発送を省くことができるものもある。

**町長** 調査を含め、しっかりと検討していきたい。

有吉  
富生



## 町民と行政が共に取り組む 町づくりの進め方は

…… 第5次総合計画を基本に  
活力ある町づくりを進める

### 8月災害豪雨の被災状況及び対策は

**有吉** 被災状況はどうか。対策として昨年の小規模災害対策事業が大きな効果があった。今年度災害も小規模災害対策事業で早期復旧をすべきではないか。

**町長** 災害申請を受け付けて現地の確認中であるが今後の状況によって実施するか判断する。

### 避難所の場所変更は住民へ周知ができていますか

**有吉** 8月豪雨の避難個所が以前の場所でなく変更していたが、住民には周知されていたのか。

**町長** 状況判断で町が決定しているので事前協議は難しい。無線等の行政機関でのお知らせは行った。

### 昨年7月豪雨災害の復旧状況について

**有吉** 1年を経過したが復旧状況はどうか。3か年で復旧出来なかった場合、その災害の扱いはどうなるのか。

**町長** 今年度全部の災害個所の発注を目標としているが3か年で復旧できない個所は引き続き復旧が完了まで事業は繋がっていく。補助率も決定のままである。



復旧を待つ水田災害個所

### 防災対策としてのダム設置の考えはないか

**有吉** 山間地の防災対策としてダムの設置が必要と思うがダムの計画はないか。

**町長** 防災対策としてのダムの計画はない。ダムの性質によって計画を協議し、国県へ要望している。

### 今年度の農産物の生産状況は

**有吉** 長雨、日照不足による農産物の生産状況及びコロナでの影響はどうか。支援の必要はないか。



**町長** 何割かの減収 日照不足の影響が心配される稲が心配されるが、今後の価格等を見て状況判断する。

### 農林業の補助事業、支援事業の有効活用は

**有吉** 小規模農家の農業維持のために地域で取り組める補助事業を有効活用させるべきではないか。

**町長** 人・農地プラン等の事業で農地の維持、有効活用に取り組んでいる。中山間直接支払制度の説明会を行い事業の活用を推進する。

### 過去の補助事業施設の再利用について

**有吉** 過去に設置された農業施設が、現在放置状況となっている施設について、再利用の検討は出来ないか。

**町長** 農家数の減少の中で施設の有効活用は望ましいことであり利用方法等を検討する。

### 町づくりの取り組みを、今後どう進めるか

**有吉** 町づくりについて新採用職員にはどのような研修を行っているか。

**町長** 町独自の研修、県主催の研修等地域を考える研修を行っているので職務に活かすよう努力する。

**有吉** 行政と町民が共に町の活性化を図るためにも、行政区担当職員の配置を検討すべきではないか。

**町長** 町づくり協議会等に活動の支援を行っている。職員ボランティア組織を発足して地域の活動支援を始めている。今後充実させて住民と共に町づくりを行う。

# 第5次総合計画 9,000人を乗せた九重町という船を 10年後、どこへ導くのか



佐藤 明郎

…………… 町民と共に、将来も幸せに安心して暮らせる町へ

## 20年後、町の厳しい未来予想図を 町民に示した意図は何か

**町長** 九重町で計画される全ての基本となる、第5次総合計画を今年度中に策定する。

20年後の九重町の姿を、広く町民の皆様に知っていただき、危機感も共有しながら、10年後の町を策定する今回の計画に、多くの町民の意見をいただき、各分野において、計画の段階から、直接町民の方々に御協力をいただきたいと考えている。

「町民主体の町づくり」、多くの皆様に関心を高めていただき、ひとつの手段としてお示した。

九重町人口推計

	2020年	2040年
0～14才	965人	564人
15～64才	3,936人	2,500人
65才以上	3,959人	2,818人
合計	8,860人	5,882人

※広報このえ4月(No.779)から引用

## 町は地域コミュニティの充実を求めると同時に人口減により、集落活動が困難になる状況も示した。行政はどのように支援するのか

**佐藤** 町は、今後の町づくりは、住民の協働が必要だと、各分野で主張しているが、各集落の人口減も明らかである。

例えば、町道維持管理が厳しい集落も実在する。この矛盾に対応するため、行政はどのような支援ができるのか。

**町長** 非常に難しい問題だと思っている。

地域コミュニティの崩壊といった不安が現実的なものであると、我々も受け止めている。

今後、人材面、財政面、本気で知恵を出さねば、単純な支援で終わってしまう不安を抱えている。

協働をなし崩し的に行政が支援することなく、住民の

自主性、主体性、地域の主体性、そういったものをしっかりフォローできる体制を作っていくことが重要だと考えている。

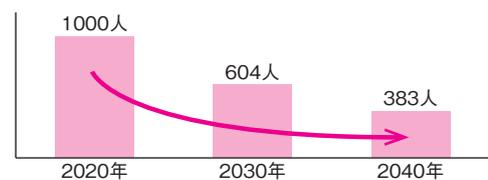
## 「10年後、町民のみなさんが将来も幸せに安心して暮らしていけるように」 この目的から、町民にわかりやすい計画を

**町長** これから10年、取り組んでいく課題を、しっかり解決できるような目標設定を立てて取り組む。未来予想図でも示したとおり、町の人口が大幅な減少をたどり、担い手不足が大きな問題となる。例えば、担い手不足をカバーできるような将来像なども含めて提示していきたい。皆が、九重町の将来像を想像できる計画にしたい。

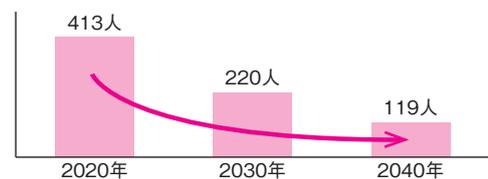
### 2040年私たちの生活は？

町道の草刈り作業や地区水道の共同運用等、これまで出来ていた地域の取組が困難になることが予想されています

#### ⑤農業をする人



#### ⑥建設業で働く人



#### ⑦医療・福祉で働く人



※広報このえ4月(No.779)から引用

# あたしのひとこと

## 繋がりを大切に

南山田 後河内  
左藤 博文さん



トマト栽培を始めて8年目になります。それまではサービスマン関係の仕事をしていました。トマト栽培は、子供の頃に消毒の補助の手伝いをした程度の経験しかないのですが、父親や知人・栽培講習会の指導の下、徐々に栽培技術を習得出来ていると感じているところです。最近では、『ファーマーズスクール』出身の若い方々が県外より新規就農をされて、トマト部会も良い刺激を受け活発になってきています。まだまだ未熟で経験不足の私ですが、トマト部会の副部長に任命されて

3年目になります。役員を受けて以降、部会の皆さんや市場関係の方々等、人との繋がりが増え、サラリーマン時代よりも充実した農業が出来ていると感じています。

ここ数年の異常気象や昨年からコロナ禍で厳しい状況になっていますが、コロナ終息も含め、出来れば以前の様な環境に戻って欲しいと願いつつ、トマト栽培に尽力していきたいと思っています。



## こげーなりやいいが…

東飯田 書曲一  
平 祥尚さん



あゝ宝山の南の繁れる森の梅林山。ここに降り立つ二百のこれは東飯田小学校に伝わる運動会の応援歌の一節です。この歌を最近聞く機会があり、父と話すとき衝撃の事実が!!なんと父が小学生の頃は、ここに降り立つ一千のくだったそうです。この約40年間の間に応援歌の歌詞が変わってしまう程の人口の減少が…。

私はもし、この時代に降り立つ一千もの人がいたらと考えるみました。

例えば、東飯田地区の秋の風物詩の「つーだらだつた祭り」。

トラックを取り囲む各方面のテナントも途切れることなく敷き詰められ、止むことのない地区を応援する歓声。考えただけで楽しそうです。人がいなくてもできることは沢山あると思います。が、やはり、人がいないと楽しさも変わってくると思います。いつの日か、ここに降り立つ三百の〜と人が増える応援歌になることを願って、また、人と人がマスク越しではなく、顔と顔を突き合わせて酒を飲み大いに笑いあえる日が来ることを併せて願ひ、コロナウィルス終息を願ひながら自宅で晩酌を楽しむとします。



つーだらだつた祭りの様子



## バトンをつなぐ

第11回

### 議員リレー



⑪ 土井眞一郎

新型コロナ猛威の中で東京オリンピック、パラリンピック無事終了したこと、大変良かったと思います。夢と感動を与えて下さった選手の皆さん大変御苦労様でした。

九重町においては昨年の集中豪雨被害の対応、新型コロナ対策と再建に苦慮していますが、国、県の支援又町民の皆さんの協力をいただきながら早期の復興を目指し取り組んでいます。

今後においても町民の皆さんが安心して生活できる町づくりに全力投球していきます。

### 地区リレー



野上

野上ふれあい食堂



飯田

飯田小学校二年生 学童農園

議会だよりについて  
ご意見をお聞かせください。  
【議会事務局：76-3814】

令和3年10月15日  
発行／九重町議会 編集／議会広報特別委員会  
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1  
☎ 0973-76-3814 ・ FAX 0973-76-3809  
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

### 編集後記

今年の夏8月は、大雨による避難指示が12日から連続6日間、町内全域に出されましたが、大きな災害はありませんでした。また、新型コロナウイルス感染急拡大の中で異例な夏でした。

ワクチン接種状況は、令和2年末人口9122人比、10月3日現在(医療従事者を除く)、1回73%、2回72%程度まで進んでいます。1日も早い収束を願っています。

第3回定例会では7名による一般質問、常任委員会で各議員より多くの質疑が交わされています。

議会は、住民の皆様に代わり行政のチェック、議論をする場であり方針を決定する場です。今後も皆様のご意見をお聞かせください。 大津留 敏加

- 広報委員長 野上香代子
- 副委員長 土井眞一郎
- 委員 佐藤 博美
- 委員 大津留敏加
- 委員 麻生 良典
- 委員 岐部 俊哉